



つくることの楽しさ・豊かさ  
卒業の記念にと、あるお母さ  
んから素敵な箱をいただいたこ  
とがある。品の良い綺麗な布で  
包まれたその箱は、開けると中  
に、子どもたちと私の懐かしい  
写真がプリントされていた。世  
界に二つとないその箱は、私の  
宝物になり、さらにその箱が縁  
でお知り合いになった、ものづ  
くりの教室のA先生は、今では

私の大切な師匠である。ものづくりの好きな子どもから  
大人まで大勢の人が集まるA先生の家は、まさにアイ  
ディアの宝庫。先生いわく、「私たちの身の回りにある  
ものはみーんなつくってみようという気になりさえすれ  
ばつくり出せるのよ」

大事にしていた腕時計のベルトが切れ、気に入ったも

のがなかなか見つからないでいたことを思い出し、好き  
な布で時計ベルトを作ることにした。私のイメージを形  
にしていくために、A先生は、その経験と技術を惜しみ  
なくつぎ込んでくださった。時計とおそろいのバッグま  
で出来上がった時には、私はすっかり先生の魅力と、も  
のづくりの世界に引き込まれていた。つくることを通し  
て、人との関わりが豊かに拡がっていくこと、つくりだ  
す楽しさを人に伝える伝え方。保育につながる大事な要  
素がいっぱいだ。思えば、子どもたちとの暮らしを、心  
から楽しんでいる人たちは、ものづくりに関心が高い人  
が多いようだ。

梅雨空の週末、洗濯もの  
の山のことは、少し忘れて  
ものづくりの旅に出るのも  
良いのでは……。

(幼稚園勤務)

